



りそな銀行アジアニュース

平成 20 年 10 月 1 日
りそな銀行 法人ソリューション営業部 国際業務室

【タイ】

「2008年第2・四半期のタイ経済動向について」

(1パーツ=約3.1円)

タイ国家経済社会開発庁(NESDB)は2008年第2・四半期(4~6月)の実質国内総生産成長率(GDP、速報値)を5.3%と発表しました。今年第1・四半期の6.1%から減速しました。インフレ圧力が大きく増大しており、国内需要の鈍化が挙げられます。しかしながら、輸出は引き続き高い伸びを示し、経済成長を押し上げました。

内需については、石油価格と食品価格が大きく上昇したことを受け、今年第2・四半期の一般消費者物価指数(CPI)上昇率は前四半期の5.0%から7.5%となりました。個人消費伸び率は2.6%から2.4%に低下しました。資本形成に関する総投資は同5.4%から1.9%に伸び率が鈍化しました。うち民間投資は6.5%から4.3%に、公共部門は2.0%からマイナス5.2%と減少しました。これは建材価格の上昇で政府が資材調達を先延ばしたことが背景にあります。

部門別の生産伸び率は、燃料作物やコメの価格上昇、食品輸出の拡大が成長を促したことにより、農林水産業が引き続き好調に推移し6.5%に伸びました。農林水産業以外の部門の伸びは5.2%となりました。製造業は8.0%に低下しました。金融やホテル・レストラン業も成長率を下げました。

対外部門では上向いています。輸出額は前四半期と比べ26.3%増加しました。特に自動車・同部品、コンピューター・同部品、電機・同部品は好調です。また輸入額は同29.3%増と減速しました。この結果、この四半期の貿易収支は4億2,500万米ドルとなり黒字に転じました。今年第2・四半期の対米ドル・パーツ相場は平均1米ドル=32.28パーツとなり前四半期比と前年同期比それぞれ0.32%、6.81%ドル安パーツ高となっております。

NESDBは2008年のGDP成長率見通しを5.2%(2008年2月当初の見通しでは4.5~5.5%)、インフレ率6.5%~7.0%と予測しました。

【産業別GDP伸び率】

(前年同期比増減%、速報値)

	2007年	2007年				2008年	
	通年	第1・四半期	第2・四半期	第3・四半期	第4・四半期	第1・四半期	第2・四半期
農林水産業	3.9	3.8	7.5	1.7	3.1	3.5	6.5
農林水産業以外	4.8	4.2	4.0	5.0	6.1	6.4	5.2
製造業	5.7	4.6	4.5	5.7	8.0	9.9	8.0
建設	2.1	0.5	1.7	1.4	5.2	1.1	-3.9
ホテル・レストラン	5.0	6.2	3.5	3.0	7.2	8.3	5.0
運輸・通信	6.0	6.1	6.0	5.9	6.2	6.0	4.0
金融	5.7	0.6	4.7	8.5	8.7	9.6	8.9
国内総生産(GDP)	4.8	4.2	4.3	4.8	5.7	6.1	5.3

【出所: NESDB】

照会先: 法人ソリューション営業部 国際業務室 (東京) 電話 03-5223-6672
(大阪) 電話 06-6268-6357

当資料は、信頼できるとされる情報に基づいて作成しておりますが、弊行がその正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前の連絡なしに変更されることもあります。当資料は情報提供のみを目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、お客様御自身でご判断下さいませようお願い致します。
* 禁無断転載